

## プラン策定の内容

### 1 業務の目的

総務省及び厚生労働省連名通知に基づき、高知県水道ビジョンに記載された水道事業の現状と課題や広域化の推進方針を踏まえて、収支推計の実施及び広域化の効果等を算定し、今後の広域化の方向性について検討を行う。

### 2 内容

- (1) 現状と40～50年後までの将来見通しの算定
- (2) 広域化のシミュレーションと効果算定
- (3) 今後の広域化に係る推進方針

## 進捗状況報告

### 1 現状と50年後までの将来見通し（現状分析）

#### (1) 現状分析

県全体及び圏域ごとの経営指標スコアを作成。（別紙参照）

#### 【指標から分かること】

- 県全体…法適用、法非適ともに概ね全国平均並みの数値となっている。
- 圏域別（法適用のみ）

高知市…経営収支比率や料金回収率は平均を大きく上回っており、効率的な経営が行われている。一方、施設利用率や職員1人当たり有収水量は若干下回っており、保有施設の効率性や職員配置の効率性にやや課題があると考えられる。

安芸…施設利用率及び有形固定資産減価償却率が平均を大きく下回っており、保有施設の効率性と老朽化に課題がある。また、ヒト（効率性）の指標がいずれも低いことから、職員配置の効率性に課題があると考えられる。

中央東…施設利用率は平均を大きく上回っており、保有施設が効率的に利用されている。一方、職員の平均経験年数、水道技術職員率がかなり低いため、若手職員への技術継承や職員の育成が課題であると考えられる。また、管路更新率も低いため、管路の老朽化が懸念される。

中央西…圏域平均としては平均に近い結果となっているが、個別市町ごとにばらつきが大きいのが特徴。全体としてみると、施設利用率は平均を若干下回っており、保有施設の効率性にやや課題があると考えられる。

高幡…有収率が平均を下回っている一方、施設利用率が高いため、管路の老朽化等により漏水に起因して施設の稼働状況が高くなっている可能性がある。また、起債残高対給水収益比率がかなり低いため、現時点でも将来の償還負担が重い点が懸念される。

幡多…施設利用率及び有収率のモノ（効率性）の指標が平均と比較してかなり低いため、保有施設の効率性に課題があると考えられる。

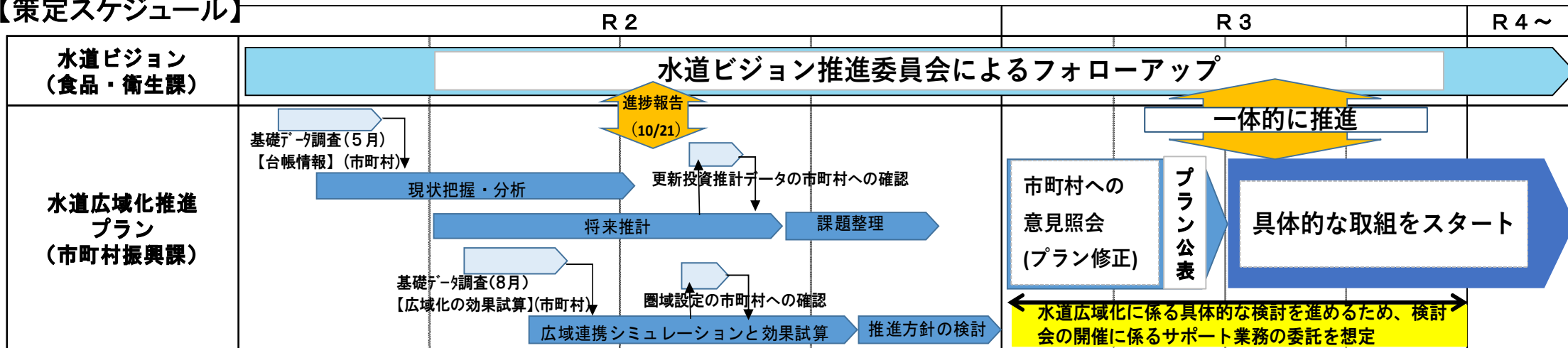
#### (2) 将来見通し

各市町村の固定資産台帳（法適）及び過去の建設改良費（法非適）から50年後までの更新費用を推計中。今後、市町村が策定している経営戦略（直近10年）との相違点がないか確認の上、推計結果を財政シミュレーションへ反映する。

### 2 広域化のシミュレーションと効果算定

業務状況把握調査（8月）を実施した結果、警備・清掃及び漏水調査・管路診断の業務については、直営に要する職員の人役が少数で委託率が低いことから、効果が出ない可能性が高いため、その他の項目を重点的に検討。

## 【策定スケジュール】



分析指標

法適	主要経営指標	高知県	高知市	安芸	中央東	中央西	高幡	幡多	
カネ	効率的性	経営収支比率	52.18	63.64	52.60	51.98	50.29	50.45	52.35
		料金回収率	52.66	60.03	53.71	53.59	53.04	45.17	54.59
	健全性	流動比率	50.23	48.68	50.16	47.76	55.89	48.49	48.15
		企業債残高対給水収益率	45.62	48.36	47.92	48.20	46.72	39.15	45.02
モノ	効率的性	施設利用率	44.40	45.89	33.00	56.07	43.16	55.76	36.53
		有収率	46.44	58.44	46.50	52.23	47.14	43.06	40.90
	健全性	管路の更新率	47.77	55.37	47.21	44.76	52.08	45.21	46.17
		有形固定資産減価償却率	48.51	49.42	43.47	47.78	47.58	54.59	48.98
ヒト	効率的性	職員一人当たり有収水量	47.63	45.41	43.80	51.33	49.66	46.18	47.31
		給水収益に対する職員給与費の割合	46.26	47.71	42.02	48.43	45.56	47.13	47.47
	健全性	水道事業平均経験年数	50.27	57.05	52.27	41.38	52.56	55.86	47.24
		水道技術職員率	48.60	63.29	45.80	42.01	49.41	53.52	47.49

現状分析で用いる主要経営指標

法適用	分析指標	計算式	指標の意味
カネ	効率的性	経営収支比率	(営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているか示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。
		料金回収率	(供給単価 ÷ 給水原価) × 100 給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標の一つである。
	健全性	流動比率	(流動資産 ÷ 流動負債) × 100 流動負債に対する流動資産の割合を示すもので、事業の財務安全性を表す指標の一つである。
		企業債残高対給水収益率	(企業債残高 ÷ 給水収益) × 100 給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標の一つである。
モノ	効率的性	施設利用率	(1日平均配水量 ÷ 施設能力) × 100 施設能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率的性を表す指標の一つである。
		有収率	(年間有収水量 ÷ 年間配水量) × 100 年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標である。
	健全性	管路の更新率	(更新された管路延長 ÷ 前年度末における管路延長) × 100 管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表す指標の一つである。
		有形固定資産減価償却率	(有形固定資産減価償却累計額 ÷ 償却対象有形固定資産帳簿原価) × 100 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化の度合いを示している。
ヒト	効率的性	職員一人当たり有収水量	年間総有収水量 ÷ 損益勘定所属職員数 1年間における損益勘定職員1人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率的性を表す指標の一つである。
		給水収益に対する職員給与費の割合	(職員給与費 ÷ 給水収益) × 100 給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。
	健全性	水道事業平均経験年数	職員の水道業務経験年数 ÷ 全職員数 全職員の水道業務平均経験年数を示すもので、人的資源としての専門技術の蓄積度合いを表す指標の一つである。
		水道技術職員率	(技術職員数 ÷ 全職員数) × 100 全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表す指標の一つである。

法非適	主要経営指標	高知県	安芸	中央東	中央西	高幡	幡多	
カネ	効率的性	収益的収支比率	46.82	45.33	46.38	47.59	41.39	44.95
		料金回収率	48.38	48.66	46.97	47.98	42.57	48.92
モノ	健全性	企業債残高対給水収益率	49.58	49.51	50.78	48.61	46.84	50.10
	効率的性	施設利用率	53.42	49.95	52.35	56.47	60.82	54.83
モノ	健全性	有収率	49.46	42.58	42.61	51.56	58.67	52.98
	健全性	管路の更新率	52.31	58.23	50.04	48.64	50.96	58.09
ヒト	効率的性	職員一人当たり有収水量	51.72	58.39	58.02	43.95	52.93	46.06
		給水収益に対する職員給与費の割合	50.83	50.81	50.80	51.09	50.75	50.93

※スコアは50が全国平均

法非適	分析指標	計算式	指標の意味
カネ	効率的性	経営収支比率	総収益 ÷ (総費用+地方債償還金) × 100 総費用と地方債償還による支出が総収益によってどの程度賄われているか示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。
		料金回収率	(供給単価 ÷ 給水原価) × 100 給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標の一つである。
モノ	健全性	企業債残高対給水収益率	(地方債現在高 ÷ 給水収益) × 100 給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標の一つである。
	効率的性	施設利用率	(1日平均配水量 ÷ 施設能力) × 100 施設能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率的性を表す指標の一つである。
モノ	健全性	有収率	(年間有収水量 ÷ 年間配水量) × 100 年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標である。
	健全性	管路の更新率	(更新された管路延長 ÷ 前年度末における管路延長) × 100 管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表す指標の一つである。
ヒト	効率的性	職員一人当たり有収水量	年間総有収水量 ÷ 損益勘定所属職員数 1年間における損益勘定職員1人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率的性を表す指標の一つである。
		給水収益に対する職員給与費の割合	(職員給与費 ÷ 給水収益) × 100 給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つである。